

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2015年9月25日（金）

第566号 本号2分

（2分に戦争法廃止署名用紙）

国会前集會に5000人 24日 戦争法廃止、安倍政権打倒に一步

9月24日、「戦争法廃止！国会正門前大集會」が開催されました。折からの雨にもかかわらず5000人が参加し、戦争法廃止、安倍政権打倒の決意みなぎる集會となりました。主催は戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会。同実行委員会が呼びかける19回目の連続木曜行動でもありました。

集會では、国会内でともにたたかった野党代表が発言しました。この中で、日本共産党の志位和夫委員長は、戦争法を廃止し、集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回するために「戦争法廃止の国民連合政府」をつくろうと呼びかけました。そのためには野党が結束し、総選挙・参院選挙で選挙協力をしようとして提案していること、民主党をはじめ各党・団体との話し合いを開始していることを紹介、「日本の政治を変えよう」、「憲法の立憲主義、平和主義、民主主義を貫く新しい政治をいっしょにつくろう」、「実るかどうかは国民の世論と運動にかかっている、後押しを」と訴え、大きな声援を受けました。民主党からは枝野幸男幹事長、社民党からは吉田忠智党首、生活の党と山本太郎となかまたちからは主濱了副代表がスピーチしました。

総がかり行動実行委員会を構成する3団体代表があいさつしました。

また学者の会の佐藤学さん、立憲デモクラシーの会の山口次郎さん、SEALDsの千葉さん、日弁連の山岸良太さんらが連帯のあいさつ。この間の救護を一手に引き受けてきた救護班に一医師として参加した沢田貴志医師が、国会前などで体調不良を訴えた約100人への対応などの経過を報告、そして「戦争法は、国民との関係で、重度の副作用をもたらし、免疫を奪い、がん細胞をひろげる悪法であり廃止を」と呼びかけ、その奮闘ぶりと決意に盛んな拍手が送られました。

10月8日に屋内大集會開催を提起 小田川さんが行動提起

行動提起で小田川義和さんは、大規模な「廃止署名運動」の展開、「9月19日を忘れない行動」などを呼びかけました。そして、10月8日（木）19時から文京シビックホール大ホールで「総がかり行動10・8講演集會（仮称）」を開催することを発表、参加を訴えました。

憲法会議、廃止署名呼びかけ 政党・団体が「戦争法廃止署名」開始

憲法会議は24日、署名用紙「憲法違反の戦争法（安保法制）の即時廃止を求めます」を発表し、廃止に向けて署名活動と呼びかけました【署名用紙別掲】。すでに各地で転載もされ、活用が始められています。

日本共産党は9月25日付しんぶん赤旗で、署名用紙「日本を『海外で戦争する国』にする戦争法（安保法制）の廃止を求めます」発表、活用と呼びかけています。

このほか新日本婦人の会なども署名運動を提起し、用紙を全国に広げています。

憲法違反の戦争法(安保法制)の即時廃止を求めます

衆議院議長様
参議院議長様

[請願の趣旨]

戦争法(安保法制=平和安全法制整備法および国際平和支援法)は、空前の規模でひろがった国民の反対運動を無視し、政府・与党の「数の暴力」で「成立」させられました。

この戦争法は、「戦闘地域」での兵站、戦闘継続中の地域での治安活動、米軍防護の武器使用、集団的自衛権の行使など、これまでの政府見解すら180度転換し、日本国憲法の恒久平和の原則に真っ向から背いて日本をアメリカとともに戦争する国へと導く憲法違反の法律です。

このような憲法違反の法律の存続を許すなら、わが国の存立の土台である立憲主義、民主主義、法の支配は根底から覆されることになります。

多数を頼みに暴走を続ける安倍政権を退陣させ、国民主権を取り戻すために一刻も早く、憲法違反の戦争法を廃止することを求めます。

[請願の項目]

- 一、 憲法違反の戦争法(安保法制)をただちに廃止すること。

氏名	住所

取り扱い (憲法会議)